

【決算説明会質疑録】平成29年12月期 第二四半期決算について

<日時>8月4日 16:00-17:30

<登壇者>代表取締役社長 尾賀、取締役経営管理部長 征矢、サッポロビール社長 高島

1. 国内酒類事業について

Q.「サッポロ生ビール黒ラベル」の伸長について、特に若年層の需要の取り込みに成功した要因について教えてほしい。

A. (高島) 「サッポロ生ビール黒ラベル」については、若年層の男女の支持率が上がっている。パーフェクトビヤガーデンやパーフェクトデイズを通じて、ブランド体験の接点を拡大してきたことにより、今まで黒ラベルを知らなかったお客様に知っていただき、実際に飲んでみて、おいしいと評価していただけたことが要因と考えている。

Q.ビール類の店頭価格の上昇に伴い、消費動向が変化している状況下で、下期の販促費がかさむのではないかとの見方があるが？

A. (征矢) 販促費予算については年初計画通りで増やす予定はない。販促費の使い方について、より効果的な施策へとシフトさせていく。

2.国際事業について

Q.米国のアンカー・ブリューイング・カンパニー社の買収の件、この買収によって北米のビール事業にどのような効果があるのか教えてほしい。

A. (尾賀) ANCHOR ブランドは 100 年以上の歴史を誇る、サンフランシスコ 市民に長年愛されている有力ブランドである。ANCHOR ブランドについては、いわゆるクラフトビールとしては考えておらず、魅力ある「ブランド」に可能性を感じて、買収した。

現在の年間売上高は37億円程度だが、当グループに加わることによって、必ずや売上を拡大できると考えている。また、当社には2006年にSLEEMAN社を買収し、カナダで一貫したバリューチェーンを獲得したことによって、カナダでのシェアを4%から8%に伸ばした実績がある。

今回の買収によって、米国においても一貫したバリューチェーンを獲得することができたため、ANCHORのみならず、SAPPORO、SLEEMANとグループが保有するブランドを北米全体でどのように販売していけるかという選択肢を広げることができる。

Q.カナダのSLEEMAN社で製造していたビールの一部をベトナムでの製造に移管したが、これによってベトナムのビール事業の採算が改善するのか？

A. (尾賀) ベトナムへ製造を移管することによって、SLEEMAN社において製造余力が生じるため、外部へ製造委託していた製品の内製化が可能となる。将来的にはベトナムを世界中に輸出する製造拠点とすることを視野に入れている。

(征矢) 今回の施策によりベトナム工場の稼働率は約20%上昇する見込みである。

以上